

2019～2020年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー
2019～2020年度 国際ロータリーのテーマ

福岡東南ロータリークラブ

号外

会長 佐々木 健一
副会長 長谷川 裕一
幹事 松尾 幸静

Rotary



ロータリーは
世界をつなぐ

ROTARY CONNECTS THE WORLD

創立 / 昭和 45年 2月 6日
事務所 / 福岡市博多区住吉1-2-82 グランドハイアット福岡B2
TEL 092 (283) 8878 FAX 092 (283) 8871
E-mail : ftonanrc@fukuoka-serc.org
HP : http://fukuoka-serc.org
例会場 / グランドハイアット福岡 TEL 092 (282) 1234
例会日 / 毎週金曜日 12:30

会長報告

※新型コロナウイルス拡大の影響により
3月6日(金)～6月5日(金)まで
例会を休会しております。

● 4月も5月も例会が休会になって、みなさん如何お過ごしでしょうか。みなさんにお会い出来ないことが、こんなに辛いとは考えてもいませんでした。

● なんとか開催する手はないものかとも考えましたが思い浮かびません。
そこで、IT・会報・広報 本山委員長に、週報の代わりになるものを考えて、会員のみなさんへ出して欲しいと無理をお願いしました。
一方的ではありますが、みなさんに思いを伝えることができます。

● 現在、コロナ対応で大変苦勞されている会社が多々あると、聞いています。
頼りにならないかも知れませんが、なんなりとまずは相談してみてください。必ず解決できる方策があると思います。
みんなの知恵をしばり！汗を出して！心ひとつに！
ワンチームで頑張ろう！

● 昨年、姉妹提携をした台湾の台北中央RCのみなさんには、感動させられました。
我々の近辺にマスクがなく困っていた時に、みなさんでマスクを使って下さいと、2900枚ものマスクが送られてきました。
台湾のロータリアンの心に触れさせて頂き、感謝・感謝であります。
例会が始まったら、みなさんで知恵を出し合い、何か恩返しが出来ればと思っています。

ピアノ演奏曲

※例会休会によりピアノ演奏曲目はありません。

今月の行事

※例会休会により行事予定はありません

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

「福岡東南RCの活動報告について」

福岡東南ロータリークラブの皆様こんにちは。

お元気に柔軟に新型コロナウイルスに対応されていますでしょうか。

3月より、クラブの例会は休会が続いておりますが、「地域において最も社会奉仕(国際奉仕を含む)に力を注いでいる奉仕団体になる」の長期計画方針を掲げ、福岡東南RCが一步ずつ前に進んでいることをご報告させていただきます。

1. 先日、佐々木会長より、国際奉仕委員会ネパールGGプロジェクト委員会の理事会での決議内容と、台北中央RCのブライアントさんからのマスク支援のご報告が有りましたが、台北中央RC会長 張志成さん香港駐在のベーカーさんより医療用マスク1000枚が届き、5月7日(木)に佐々木会長、国際奉仕委員会副委員長のニックさん、幹事の松尾で福岡県医師会を訪問し、寄贈致しました。



(県医師会での寄贈時の写真)

2. 国際奉仕委員会のネパールGGプロジェクトに関し、ネパールの子供たちへの支援をより進めるため地区補助金の申請について理事会での承認を得、補助金申請を提出しました。

「合言葉:WATCH WORD」 **“ずっと先まで、お役に立ちたい！”**

「目標:TARGET」 **“奉仕活動のトップランナーになります！”**

会長卓話

九州に初めて汽車を走らせたのは大石内蔵助の首を切った男の子孫だった。今から約310年前の元禄15年12月14日深夜、赤穂浪士47人は皆良邸に討ち入り、吉良上野介の首を取り、時に自訴。その後4つの藩の江戸屋敷に預けられた。このうち大石内蔵助良雄ら17人が預けられたのは、肥後(現熊本県)細川藩の江戸屋敷だった。

そして、翌元禄16年2月4日、幕命により全員切腹をした。切腹は本人が腹を斬ると同時に介錯人が首を斬るが、内蔵助の介錯を命じられたのが細川藩の家臣で世禄200石の安場一平という人。内蔵助が自分で腹を断り、安場一平が介錯をした。「一平君藩命を蒙り良雄を介錯す。故に交場家には、今なお介錯の刀と良雄の使用せし木椀とを蔵す。此の介錯の縁に因って、安場家にては、毎年良雄白尽の日を以て、其の霊を祭るを例とす。」父母の追憶から。

そしてその一平から7代目の子孫に安場保和という人がいた。安場保和は、1835年(天保6年)、熊本に生まれ、27歳で藩の鉄砲副頭となり、戊辰戦争では磨の所有船、万里丸で東上し、徳川方との戦いに活躍。明治維新後は東京で政府の官吏に引き立てられ、胆沢県(岩手県の一部)大参事、熊本県少参事。さらに岩倉具視特命全権大使に随行して欧米各国を視察。帰国後は福島、愛知県令を経て明治19年福岡県令となりました。

福岡県令になった安場は、九州にも汽車を走らせようと考えました。安場の着任前にも、九州に鉄道を造ろうという声はあり、明治15年、福岡県会(現県議会)で決議。安場の前任者、岸良俊介県令がその決議を持って上京、鉄道庁長官、井上勝と折衝しています。しかし井上は「融資の金利を払えるほどの利益が上がるはずはない」と不同意。計画は頓挫(爾来九州鉄道のことを言ふ者なし)だった。ところが安場は着任すると、前任知事の資料を増訂し「九州鉄道布設の機」と題する上申書を書いて上京、伊藤博文首相と折衝しました。

「九州鉄道民設の機は発起人等相立原出の節は、許可すべし」という回答を取り付けた。資本金を出す発起人の見込みが立ったら許可する、というわけである。前任知事が鉄道庁長官に拒否されたのとはえらい違いである。なにしろ安場は東京に勤務しているとき、伊藤博文と船で釣りに行き、舟で立ち小便。風で小便のしぶきが伊藤の顔にかかり、伊藤が文句を言うと「いかの中だ、仕方がない」と言い返した。するとそのあと伊藤はブツブツ小言をつぶやくだけだった。

福岡に帰ってきた安場は、熊本、佐賀の両知事に呼びかけ、3県知事で3県下の有志に出資を求めました。さらに安場は政府の利子補給も請願した。これは一度却下されたが、すると安場はすぐ上京して井上野相の自宅に行き、外相に会って、九州の鉄道は熊本鎮台(現在の師団)、福岡連隊、小倉旅団、佐世保鎮守府、長崎港、門司港などを結ぶ国防上必要なものだと軍事にかこつけて説得。ついに利子補給も機得した。

九州鉄道会社は初めこの3県有志の出資で創立の予定だったが、長崎県で鉄道会社を計画していた人たちも加わり、4県財界人の出資で会社創立願書を政府に提出。明治21年6月21日、政府から会社創立の本免状が下り、博多駅予定地前に仮本社が座られ、九州鉄道会社が創立された。そして翌22年(1889)12月11日、博多駅から九州で初めての汽車が走りだしました。午前7時10分博多駅出発して8時33分久留米駅到着予定の列車でした。

各委員会報告

【IT・会報・広報委員会 / 本山委員長】

- お手元に届いていると思います、「月信 4月号」の8ページに創立50周年記念事業の記事が掲載されています。
- 「ロータリーの友」3月号の57ページに福岡マラソンボランティアの記事が掲載されています。

是非ご覧ください！！



「合言葉: WATCH WORD」 **「ずっと先まで、お役に立ちたい！」**

「目標: TARGET」 **「奉仕活動のトップランナーになります！」**